

# 令和 2(2020)年度 事業計画書

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

公益財団法人 九州盲導犬協会

令和 2(2020)年度 事業計画書  
(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

1. 盲導犬育成事業

(1) 視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬貸与

今年度の盲導犬育成目標を 8 頭とし、視覚障がい者へ盲導犬を貸与する。

(2) 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ (FU)

定期 FU、問題 FU 等の実施により、ユーザーの歩行の安全確保のため適切なフォローアップを行い、ユーザーの生活をサポートする。

(3) 犬の飼育および訓練

①繁殖

計画的な繁殖・出産により子犬目標 35 頭を確保する。また AGBN (Asia Guide Dogs Breeding Network) 加盟協会と引き続き連携し、質の良い繁殖犬の確保に努める。

②パピーウォーキング

飼育講習会及び巡回指導等を通して、子犬の健康管理とパピーウォーカーに対する飼育指導を継続する。

③候補犬の訓練

犬の稟性評価・健康評価を適正に行い、候補犬の訓練を実施する。

④盲導犬の健康管理

フォローアップおよび盲導犬 7 歳時検診などを通して盲導犬の健康状態の把握に努め、ユーザーが安心して盲導犬を使用できるよう健康管理指導を引き続き実施する。

⑤繁殖犬・リタイア犬等のケア

飼育ボランティアおよび獣医師と連携しながら、それぞれの犬の健康管理に努める。

⑥犬舎管理

犬舎担当職員・訓練士が連携して、犬舎の衛生管理および訓練犬の健康管理体制を継続して実施する。

(4) 訓練担当職員の育成と採用

①職員の育成

知識・技術の向上を目的に、認定 NPO 法人全国盲導犬施設連合会が主催する盲導犬ジャパンセミナー及び各種研修会に職員を派遣するとともに、自己研鑽を奨励する。

②職員の採用

盲導犬訓練研修生を 2 名採用し、盲導犬訓練士及び盲導犬歩行指導員として養成する。

2. 普及啓発事業

(1) 総合訓練センターにおける啓発活動

①一般見学会を毎月 1 回行う (4 月・12 月を除く) ほか団体見学を積極的に受け入れ、一般社会に対して盲導犬および補助犬法について正しい情報・知識を提供する。

②短期間の盲導犬宿泊体験希望者を募集し、体験歩行会を行うなど盲導犬の普及啓発に努める。

(2) 盲導犬普及啓発街頭活動

商業施設・交通事業者・各地区の国際ライオンズクラブ及び地域の団体等が主催する普及啓発イベント及び募金活動に積極的に参加して、補助犬の受入れに対する理解を深める。

(3) 講演・実演・体験歩行会の実施

行政及びボランティアの協力を得て、小中学校における盲導犬総合学習に講師を派遣して、講演・実演・体験歩行会等を実施、盲導犬と視覚障がいについて、正しい情報・知識を提供する。

(4) 広報活動

ホームページを、スマートフォンなどモバイル端末からも見やすいウェブサイトリニューアルし情報発信力を高めるとともに、協会報「ハーネス九州」を年2回発行する等補助犬に関する情報の発信に努める。

### 3. 関係団体協力事業

(1) 九州盲導犬友の会ユーザーとの協力及び連携を深め、協会事業の発展を図る。

(2) 全国盲導犬施設連合会、日本盲人社会福祉施設協議会、県市社会福祉協議会等関係団体と協力し、福祉事業としての一層の発展充実をはかる。

### 4. 苦情・相談

(1) 行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者・ボランティア・一般市民からの相談や苦情に迅速に対応する。

### 5. 管理部門

(1) 財政基盤の安定

① 賛助会員への新規加入の働きかけを行うとともに、会員・寄附支援者に協会報等を通して協会事業の理解と継続的支援をお願いする。

② 盲導犬募金箱の新規設置先の開拓を行うとともに、既設置先へ継続的な支援をお願いする。

(2) 施設整備計画

① 耐用年数を経過している管理棟建物のエアコン等空調設備を更新する。

② 訓練車両を1台更新し、訓練犬の市街地移動訓練に資する。